

独居老人にも愛のある緻密な施策を

岩田 鑑 郎



町長 高齢者の見守り体制の構築には官民で行われている様々な取り組みや、人と人との繋がりが必要である



問 本町に独居高齢者は何名いるか。

答 令和2年の国勢調査では614世帯であるので、ほぼ同数の614人と考える。

問 どのような施策を展開しているか。

答 保健師等が健康状態の明らかでない方を訪問し、支援の必要な方の把握に努め、必要なサービスに繋がっている。

問 農業政策について

答 102ヘクタールである。遊休農地解消のための取り組みは、農地利用集積促進事業に取り組んでいる。遊休農地を解消して耕作を開始した場合に助成金を交付している。

いる。

問 第2の市民農園を作る考えは。

答 現在は無い。

問 地域計画策定する過程で分かったことは。

答 高齢化等に伴い担い手不足があり、今後の維持管理に不安を抱えている。

※「森林整備計画について」も質問した。



宅配ボックスの設置等の取り組みについて

町長 再配達に伴う二酸化炭素排出増加を抑制する観点から有効と考える



問 当町は、令和4年に毛呂山町・越生町・東秩父村の3町1村で「山並み連携ゼロカーボンシティ協議会」を組織し、2050年までに二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す「山並み連携ゼロカーボンシティ共同

宣言」を表明した。このような中、宅配業者の方は配達する家庭において「不在」の場合は、「ご不在連絡票」を置いて次の配達に向かう。このことは、配達員（運転者）の再配達となり、燃料経費や二酸化

炭素の増加につながり、ひいては運転者の運転時間の増加、輸送能力不足になる。このため、国・埼玉県及び近隣市町村の宅配ボックスの設置状況並びに当町の設置状況と補助等について伺う。

答 宅配ボックスの設置割合は、令和4年度に国土交通省が実施した住宅市場動向調査において、既存の戸建住宅で17.6%、賃貸住宅で34.2%である。県・近隣市町村及び当町は、調査していない。また、設置補助については、宅配業者の効率的な配送等を注視しながら積極的に研究していきたい。

埼玉県スーパー・シティプロジェクトを進めるべきでは 小宮 正



問 町では、埼玉県スーパー・シティプロジェクトを取り組むための意思表示をするために、まちづくりの方針などをまとめたエントリシートを作成について、県と協議を進めている。本庁舎や明覚駅周辺をエリ

アとした計画策定について、具体的な計画場所を伺う。

答 現在埼玉県スーパー・シティプロジェクトの3つの要素であるコンパクト、スマート、レジリエントについて、駅周辺の魅力を向上し、にぎわいの創出と主

要道周辺の住宅地整備、日本版MaaSを活用したAIデマンドバス等による地域公共交通の維持確保、災害時等にも活用できるEV活用生成可能エネルギーのマネジメントを目標に掲げた。



町道1-20号線

町道1-20号線の道路改良の予定は

問 町道1-20号線の道路拡張工事は可能か。

答 提案の区間のほとんどが未改良であり、普通車のすれ違いができない道路である。この道路が通学路となっていることも考慮し、家屋の立ち並ぶ区間については、道路幅を検討したいと考えている。



令和7年 広報ときがわ3月号

なぜ広報1月号に町長の年始めの挨拶文が載ってないのか 長島 金作



問 広報は誰が責任者か。担当者1人任せになつてはいないか。

答 発行責任者は、町長である。副町長も含め、多くの職員で確認作業を行っている。

問 近隣の鳩山町、滑川町

の今年の広報2月号は成人式の写真が表紙であったが、ときがわ町は3月号に成人式の写真が掲載された。なぜ2か月前の写真なのか、遅いのではないか。

答 表紙については、町で検討し掲載しているが、編

集期間が必要なため、時間的なズレは生じる。

水道料金について 問 令和5・6年度、町独自の物価高対策事業として、水道基本料金を2分の1減免した。令和7年度から2

年間50%から25%に減免率を縮小することだが、一般家庭では、基本料金が1,672円から2,508円になり、年間5,016円の増額となる。町民に料金の負担を求めることはやめるべきである。